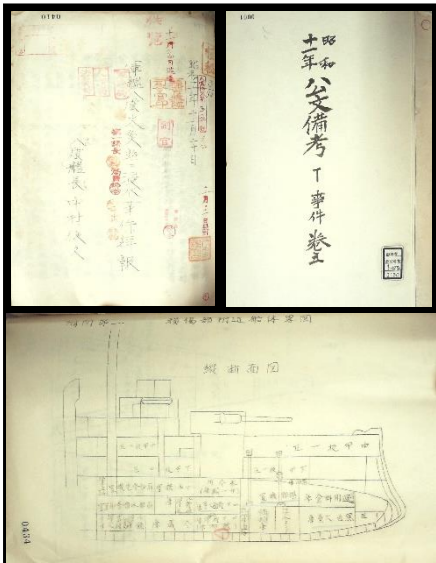


平成 30 年度も、各都道府県出身の陸海軍将官の中から毎月一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物などに関連する史料を紹介しています。

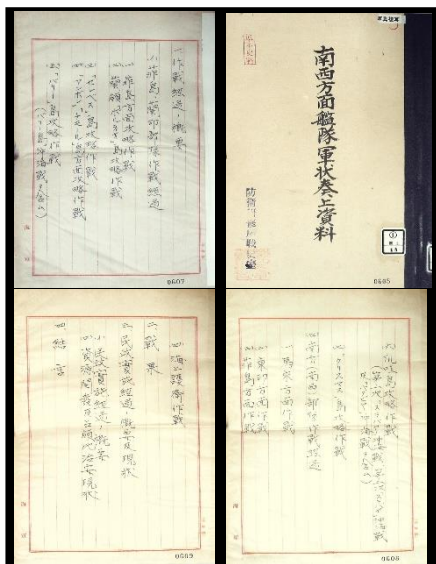
なかむら としひさ
《 中村 俊久 1890～1972 年 》
—神奈川県出身の海軍中将—



軍艦八雲火災並二浸水事件

(登録番号：公文備考-S11-178-5160)

中村俊久中将は、明治 44 年に海軍兵学校(39 期)を卒業、艦艇勤務、元帥副官兼海軍省出仕(元帥大将東郷平八郎付属)などを経て、大正 13 年、海軍大学校(甲種 22 期)を卒業しました。海軍大学校卒業後は、約 1 年間の欧米出張、皇族付武官(博義王付)なども経験しました。また、昭和 3 年 12 月、中佐昇進以降は、軍令部第 1 班第 1 課勤務などを経て、7 年 12 月には大佐、あわせて「巖島」艦長となり、8 年 5 月には軍令部第 2 班第 4 課長、10 年 11 月には「八雲」艦長となります。「八雲」では、翌 11 年、遠洋航海でトラックからサイパンに向かう途中、突然、艦底が爆発し、殉職者 4 名を出す事件が起こります。中村は、事件対応のため 5 昼夜一睡もせず、前甲板で指揮を執ります。左掲の史料は、この事件の詳細(「軍艦八雲火災並二浸水事件」)であり、事件の経緯と状況、予測される原因、中村の所見など要図も含めて記されています。



南西方面艦隊軍状奏上資料

(登録番号：①-奏上-13)

中村は「八雲」事件の後、軍需局第 1 課長となり、昭和 13 年 11 月、少将に昇進、呉鎮守府参謀長となります。この時、「大和」の建造を監督します。14 年 11 月には支那方面艦隊参謀副長、16 年 4 月には第 3 艦隊参謀長に就任します。そして日米開戦後、中村は、比島方面攻略作戦、蘭印作戦、クリスマス島攻略作戦等を指揮する第 3 艦隊司令長官の高橋伊望海軍中将を補佐します。また、17 年 4 月には高橋の南西方面艦隊兼第 2 南遣艦隊司令長官親補とあわせて同艦隊参謀長となり、同じくマレー方面作戦、東インドネシア方面作戦、比島方面作戦、海上護衛作戦などを補佐します。左掲の史料は、9 月、南西方面艦隊司令長官を下番した際の高橋伊望の軍状奏上であり、先に述べた各作戦経過の概要等が記されています。その後、10 月からは、侍従武官、11 月中将となり、終戦後の 20 年 11 月まで天皇陛下と海軍の連絡係として勤めました。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない、一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「閲覧が一時不能となる史料」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断転載・複製はお断りします。
防衛研究所企画部企画調整課

専用線：8-6-29171、29175 (史料紹介コーナーのみ29651)

外線：03-3260-3011

FAX：03-3260-3034

※ 防衛研究所ウェブサイト：<http://www.nids.mod.go.jp>